令和4年度 認知症講演

~認知症の入り口、空白の期間へのアプローチについて~

認知症当事者の方の思いに触れ、

この安来市に今何が必要なのか、一緒に考えてみませんか

氏. 智文

山中 しのぶ 氏

<u>講師プロフィール</u>

1974年宮城県生まれ。東北学院大学卒業後、 ネッツトヨタ仙台入社。トップセールスマンと して活躍中の2013年、若年性アルツハイマー型 認知症と診断される。診断後は営業職から事務 職に異動し勤務を続け、現在は認知症への社会 的理解を広める活動が仕事になっている。2015 年より、認知症当事者のためのもの忘れ相談窓 口「おれんじドア」を開設、実行委員会代表。 精力的に自らの経験を語る活動に力を入れてい る。著書に「丹野智文 笑顔で生きる一認知症と ともに一」(文藝春秋)ほか。



講師プロフィール

1977年生まれ。高知県南国市在住。3人の男の 子の母。2018年に認知症を扱ったテレビドラマ を観ていた息子に認知症を疑われ受診し2019年 2月若年性アルツハイマー型認知症と診断をう ける。当時、携帯販売の営業職として15年間勤 務していたが、体調を崩し2021年6月末に退職。 現在は、認知症になっても暮らしやすい町つく りをしたいと思い法人を設立。

法人名は、「セカンド・ストーリー」。認知症 と診断されてからの第2の人生の始まり。



日時

令和4年 1 2 月 3 日 (土)

13時00分~15時45分(開場:12時30分~)

会場

安来市総合文化ホール アルテピア 『小ホール』

定員

100名

参加費

無料

詳細・お申し込みは裏面をご覧ください >>>>



講演内容

	活動報告	『安来市内における認知症施策活動報告』 報告者:皿海 弥生(安来市地域包括支援センター 認知症地域支援推進員)
	講演①	『認知症とともに生きる』 講師:丹野 智文 氏(おれんじドア代表)
	講演②	『認知症になってからのセカンド・ストーリー 私からあなたへ伝えたいこと』 講師:山中 しのぶ 氏(一般社団法人セカンド・ストーリー代表理事)
 	ークセッション	丹野智文氏、山中しのぶ氏によるトークセッション

安来市・安来市地域包括支援センター

安来市医師会・安来市認知症対策推進会議・安来第一病院・地域型認知症疾患医療センター 安来市社会福祉協議会・安来市民生委員児童委員協議会・安来市在宅医療支援センター 安来市健康推進会議



高齢者まるごと相談センター

FAX 0854-37-1258 (担当: 皿海、三浦)

参加申込書

締切:11月18日(金)

(個人での	団 体・機関名 お申し込みの方は記						
ご住所	₸						
TEL	-				ιX		
E-mail							
	役職	氏名			役職		氏名
参加者 氏名							
参	加方法	会均			オン	ライン(z	oomミーティング)

申込方法

上記必要事項をお電話でお伝えいただくか、上記記入の上、FAXまたは郵送にて お申し込みください。

※留意事項

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、当日は受付での消毒・検温、会場内でのマスクの着用にご協力 をお願い致します。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、参加者人数を調整させていただく場合や、講演会の中止またはプログラムの変更・短縮、オンライン講演へと変更する場合がございます。

【会場アクセス】

安来市総合文化ホール アルテピア

〒692-0014 安来市飯島町70

TEL 0854-21-0101 FAX 0854-21-0250

最寄交通機関:JR安来駅からイエローバス10分

(イエローバス アルテピア線)

駐 車 場 :第1~4駐車場 459台収容(無料)



【問合せ先】